

重電機器受注生産品の受注実績 2019年度 第IV四半期(1~3月)

JEMAでは、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。

ここに、重電機器受注生産品の「2019年度 第IV四半期(1~3月)」の受注実績を公表致します。

2019年度 第IV四半期(1~3月)の概要

第IV四半期の受注額は5,046億円(前年同期比101.5%)と4四半期連続の前年同期比増加となった。

(※以下、前年同期比は「同」と略記)

内需(製造業は減少、非製造業、官公需は増加)は同増加、外需は同減少となった。

【需要者別動向】

- ◆ 内需は3,656億円(同108.2%)と、4四半期連続の同増加となった。
 - ・ 製造業は615億円(同83.0%)と、前期の増加から転じて同減少となった。主要需要先で見ると、繊維・化学・窯業・土石、鉄鋼業は同増加、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信、自動車は同減少となった。
 - ・ 非製造業は2,357億円(同113.4%)と、前期の減少から転じて同増加となった。大口需要先である電力業は5四半期連続の同減少、運輸業・郵便業・通信業は6四半期連続の同増加となった。
 - ・ 官公需は652億円(同131.5%)と、5四半期連続の同増加となった。大口需要先である地方公務は2四半期連続の同増加となった。
- ◆ 外需は1,390億円(同87.5%)と、3四半期ぶりの同減少となった。

【製品別動向】

- ・ 発電機(内需、外需共に増)、変圧器(内需、外需共に増)、配電装置(内需増、外需減)は、同増加となった。
- ・ 交流電動機(内需増、外需減)、電力変換装置(内需、外需共に減)、遮断器(内需、外需共に減)、制御装置(内需増、外需減)は、同減少となった。

2019年度の概要

2019年度の受注額は1兆7,723億円(同106.4%)と前年同期比増加となった。

- ◆ 内需は1兆3,329億円(109.2%)と同増加となった。製造業は前年並みとなったが、非製造業、官公需が同増加となった。
 - ・ 製造業は2,847億円(99.6%)と同減少、前年並みとなった。主要需要先で見ると、繊維・化学・窯業・土石、鉄鋼業は同増加、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信、自動車は同減少となった。
 - ・ 非製造業は7,854億円(108.5%)と同増加となった。大口需要先である電力業は同減少、運輸業・郵便業・通信業は同増加となった。
- ◆ 外需は4,393億円(98.8%)と同減少となった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■ 対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

・ 需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。

・ 重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■ 公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

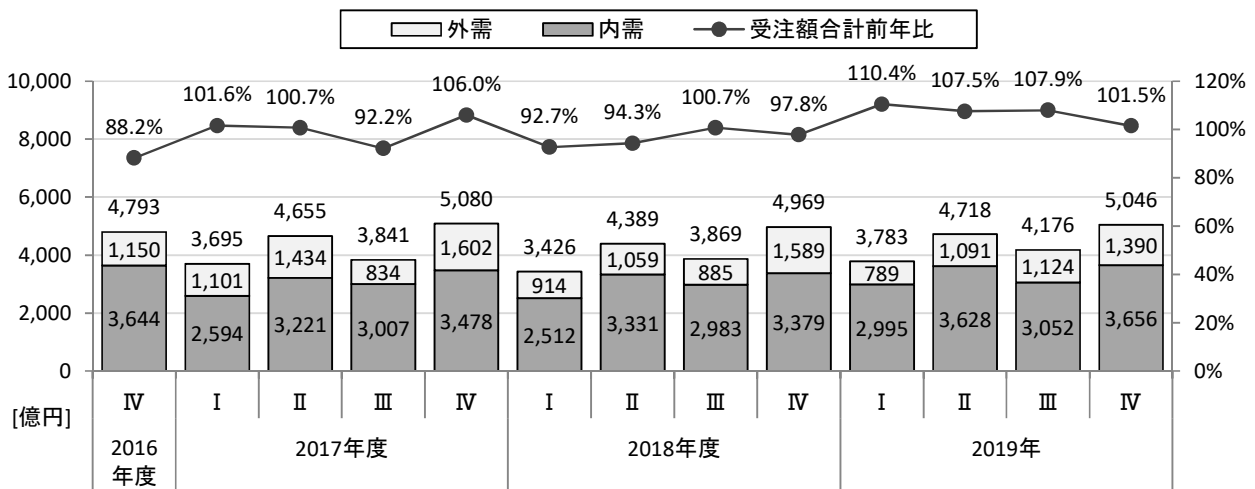
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■ 公表の種類

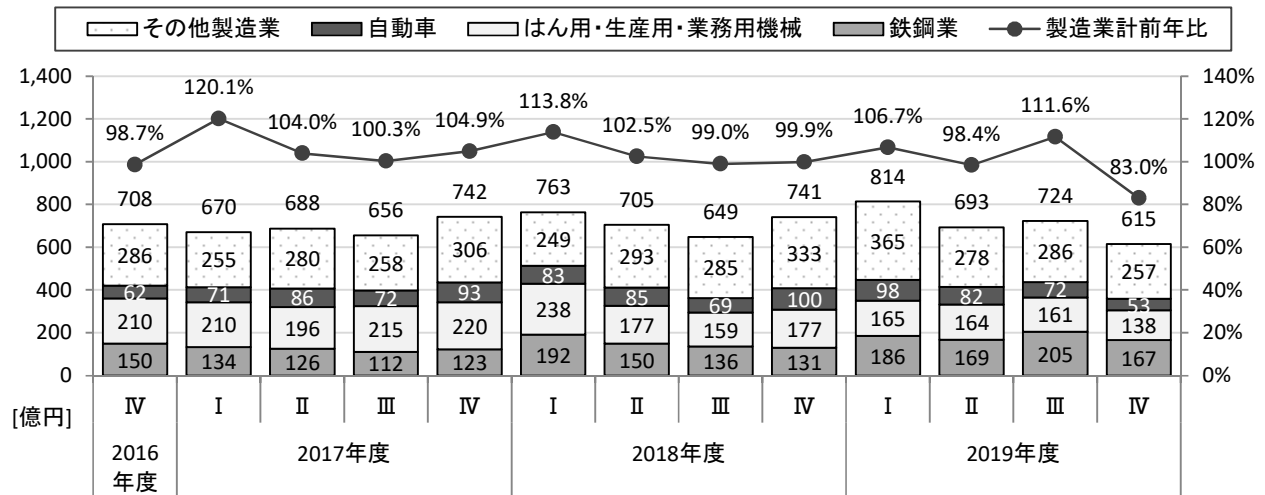
JEMA会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

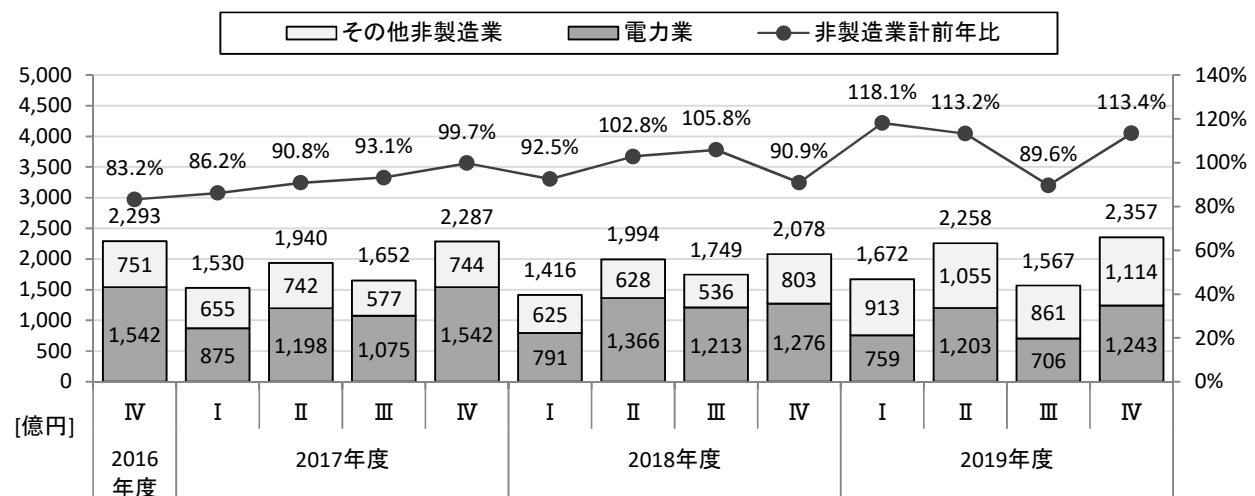
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)

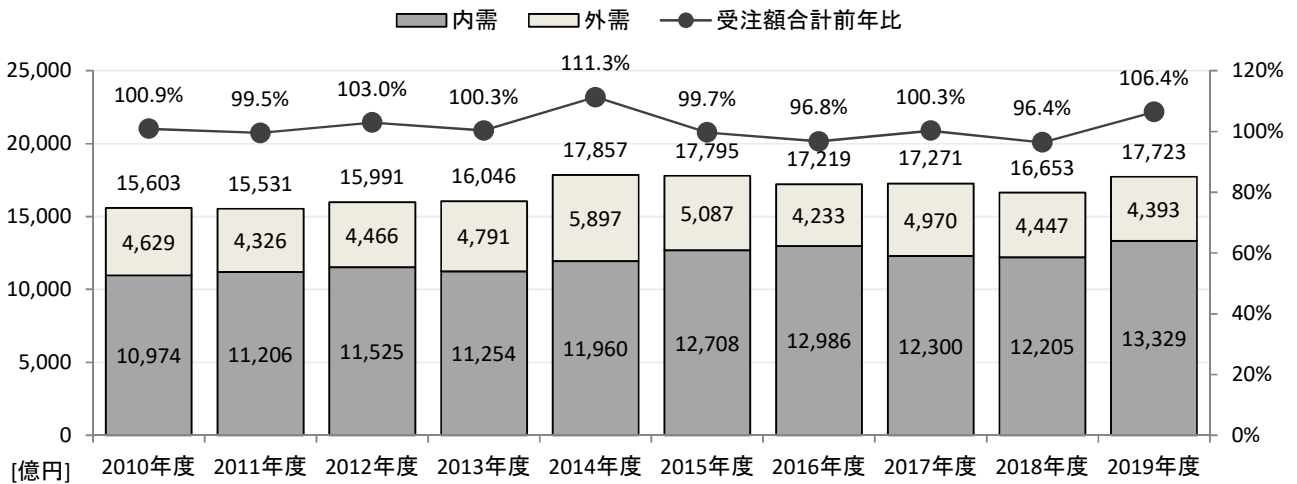


内需の内訳(非製造業)

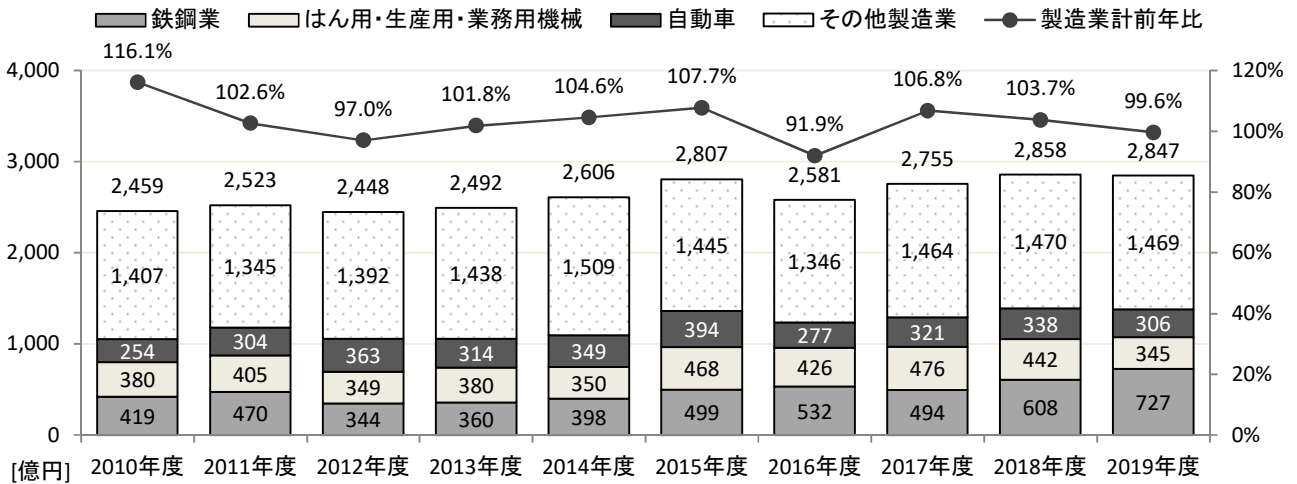


年度実績の推移

重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)

